

(案)

# 第33回2026年度 瀬戸内海研究フォーラム in 京都

# 流域圏と瀬戸内海

## 9月3日(木)・4日(金)

### 京都大学 国際科学イノベーション棟5階 HORIBAシンポジウムホール

ポスター展示: HORIBAシンポジウムホール ホワイエ  
懇親会(9月3日18:40-20:00): カフェレストラン カンフォーラ  
吉田キャンパス本部構内正門前



**無料**【事前申込制】※懇親会は有料(一般5,000円、学生2,000円)

瀬戸内海的环境を考える際には、海域そのものだけでなく、そこへつながる河川、湖沼、森林、農地、都市域を含む「流域圏」を一体として捉える視点が重要です。流域圏における自然環境や人間活動の変化は、水や物質の循環、生態系の構造、地域社会の営みを通じて、瀬戸内海的环境と深く関わっています。今回のフォーラムでは、「流域圏と瀬戸内海」を総合テーマに掲げ、豊かな生態系・環境の創造、安全・安心な環境の確保、さらには地域社会との関わりをめぐる諸課題について、多面的に議論します。流域から海へと至る連環を見据えつつ、現状の把握、課題の共有、今後の展望について、研究、行政、地域実践の各側面から知見を持ち寄り、これからの環境のあり方をともに考える機会とします。

主催: (特非)瀬戸内海研究会議 協賛: (公社)瀬戸内海環境保全協会  
共催(予定): 瀬戸内海環境保全知事・市長会議、瀬戸内海水環境研会議、京都大学流域圏総合環境質研究センター、  
京都大学生態学研究センター、滋賀県琵琶湖環境科学センター、総合地球環境学研究所、ほか  
後援(予定): 環境省、京都府、京都市、京都大学

## 申込方法

1)~5)の事項を明記し、右記申込先の①または②のいずれかへ送信してください。

- 氏名 / ふりがな
- 所属名
- 参加日 [ 9/3・懇親会・9/4 ]
- 連絡先 [ メールアドレス ]
- 所属先またはお住まいの都道府県名

申込期限	フォーラム	8月31日(月)まで
	懇親会	8月20日(木)まで

申込先

①Googleフォーム  
URL [準備中]

②E-mail [web@seto.or.jp](mailto:web@seto.or.jp)

QR  
[準備中]

↑Google↑  
フォーム

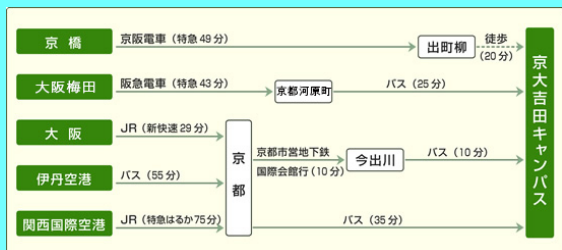
問合せ先

特定非営利活動法人 瀬戸内海研究会議  
〒651-0073  
神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2  
人と防災未来センター東館5階 (公社)瀬戸内海環境協会内  
TEL 078-241-7720 E-mail [web@seto.or.jp](mailto:web@seto.or.jp)

## 会場へのアクセス

京阪「出町柳」駅より徒歩 約20分  
阪急「京都河原町」駅よりバス 約25分  
JR・近鉄「京都」駅よりバス 約35分

アクセス  
<https://www.kyoto-u.ac.jp/ia/access/campus/yoshida/map6r-y>  
各駅バス乗り場案内(PDF)  
[yoshida4](#)



京都大学吉田キャンパス本部構内図

# 第33回2026年度 瀬戸内海研究フォーラム in 京都

(案)

9/3

木

プログラム

13:00-13:20	開会式		
13:25-13:45	瀬戸内海における水環境政策 ～きれいで豊かな海の実現に向けて～	西川 絢子	環境省 水・大気環境局海洋環境課 海域環境管理室長
<b>第1セッション 水域の物質循環と豊かな生態系保全に向けた取り組み</b>			
13:55-14:00	趣旨説明	中野 伸一	京大大学生態学研究センター 教授
14:00-14:22 <small>質疑応答14:22-14:28</small>	ため池のかいぼりによる栄養塩類供給の効果について(仮題)	鈴木 元治	兵庫県環境研究センター
14:30-14:52 <small>質疑応答14:52-14:58</small>	琵琶湖の硝酸塩動態を支える表水層における硝化の役割(仮題)	蔣 梦琦	京大大学生態学研究センター 研究員
15:00-15:22 <small>質疑応答15:22-15:28</small>	琵琶湖の水質保全と生物資源保全は両立できるのか?～モデルを用いて琵琶湖の「健全さ」を測る新たな指標を探る～	佐藤 祐一	滋賀県琵琶湖環境科学研究センター
15:30-15:45	総合討論		
<b>第2セッション 瀬戸内海と周辺地域の環境・経済・社会に関する研究活動報告</b>			
15:55-16:00	趣旨説明	浅田 安廣	京都大学大学院工学研究科 准教授
16:00-16:45	1人1分によるポスター概要発表		
16:50-17:50	ポスター前発表 [ポスター掲示会場(ホワイエ)] ・16:50-17:20 奇数番号ポスター ・17:20-17:50 偶数番号ポスター		
17:55-18:25	瀬戸内海研究会議 総会 (会員対象)		
18:40-20:00	懇親会 [カエルストラシ カンフォーラ]		

9/4

金

プログラム

<b>第3セッション 流域圏における安全・安心な環境創造</b>			
09:30-09:35	趣旨説明	林 東範	京都大学大学院工学研究科 助教
09:35-09:57 <small>質疑応答09:57-10:03</small>	ワンヘルスの観点から見た水圏の薬剤耐性モニタリングの必要性と展望	本多 了	金沢大学 教授
10:05-10:27 <small>質疑応答10:27-10:33</small>	微生物のソーストラッキング、重要管理点の把握	宇楊 再治	京都大学 助教
10:35-10:57 <small>質疑応答10:57-11:03</small>	対策技術の現状と課題、将来展望	範 鳳龍	京都大学 特定研究員
11:05-11:20	総合討論		
11:20-12:30	ポスター前自由発表 [ポスター掲示会場(ホールホワイエ)]		
<b>第4セッション 流域圏における社会の営み ～みんなで海を食べる。～</b>			
12:30-12:35	趣旨説明	浅利 美鈴	総合地球環境学研究所 副所長/教授
12:35-12:57 <small>質疑応答12:57-13:03</small>	人:海の恵みを持続可能に食べるために	佐々木ひろこ	Chefs for the Blue 代表
13:05-13:27 <small>質疑応答13:27-13:33</small>	プラ:魚も人も食べないで	小蓑 雅也	日本財団海洋事業部(香川事務所) シア・オフィサー 瀬戸内オーシャンズ X 推進協議会事務局 アドバイザー
13:35-13:57 <small>質疑応答13:57-14:03</small>	魚:きれいな海と豊かな海のあいだで	吉江 直樹	愛媛大学 先端研究院 先端研究高度支援室 准教授/URA
14:05-14:20	総合討論		
14:30-15:00	表彰式・閉会式		